

マツゲン箕島 投打圧倒

第4代表決定！ 島津製作所に8-0

都市対抗野球

近畿2次予選

わかさスタジアム京都で第4代表決定トーナメント1回戦の2試合があった。

マツゲン箕島（有田市）は島津製作所（京都府）を投打に圧倒、8-0で快勝した。アスミビルダーズ（神戸市）は大和高田クラブ

第96回都市対抗野球大会近畿地区2次予選（日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催）は6日、京都市の

（奈良県大和高田市）に2-1で逆転勝ちし、都市対抗2次予選初勝利をマークした。

きょう2回戦

勝者は7日に行われる第4代表決定トーナメント2回戦に進んだ。

【中田博維、栗林創造】

▽第4代表決定トーナメント1回戦
マツゲン箕島
012000010048
島津製作所
000000000008
（○）奥田、中田、坂本、湯浅、高崎（島）池田、瀧田、松田、二塁打 松田、富田、竹中、岡（マ）
マツゲン箕島が大勝利した。二回、2死から内野安打と四球で一、二塁の好機を作り、島田の左前打で先制。その後も効果的に加点した。守っては3投手のリレーで島津製作所を零封。島津製作所は好機にあと一本が出なかった。

万全の継投

○マツゲン箕島が万全の投手リレーを見た。「（序盤は）ヒットの割合に点が入らず嫌な感じだったが、奥田が完璧に抑えてくれていたので……」と西川忠宏監督が振り返った通り、エースの奥田が7回を被安打3でまとめると、リリーフし

た中田と坂本は各1イニングを無失点に切り抜ける。3人とも球威十分で、島津製作所をわずか4安打に抑え込んだ。次戦の相手は大阪ガスで、西川監督は「ロースコアで終盤まで行ければ」。充実した投手陣をつぎ込み、格上の企業チームに食らいつく腹づもりだ。



【マツゲン箕島＝島津製作所】二回表マツゲン箕島2死一、二塁、島田が先制の左前打を放つ



7回無失点と好投したマツゲン箕島の奥田

いずれも京都市のわかさスタジアム京都で